

「情報公開文書」

研究課題名：CT 画像を用いて測定した横隔膜肥厚度と各種臨床所見との関連を明らかにするための後方視的検討

1. 研究の対象

2015年9月～2018年10月において国際医療福祉大学 市川病院(旧 化学療法研究所病院)において胸部CTを撮影された患者様

2. 研究目的・方法

横隔膜は重要な呼吸筋であり、姿勢の保持や嚥下などにも重要である。高齢患者においても横隔膜萎縮に伴い日常生活動作を悪化させるが、加齢、糖尿病における横隔膜厚に関する報告は少ない。一般的に横隔膜肥厚度はエコー（エコー法）を用いて評価されてきたが、我々は新たにCT画像の zone of apposition (ZOA) 部位における横隔膜厚測定方法（CT法）を新に考案し報告してきた。

本研究の目的は我々が開発した胸部CTによる横隔膜肥厚度測定法を用いて評価された横隔膜厚と各種臨床所見との関連を明らかにすることである。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

CTにて評価された横隔膜肥厚度、年齢、性別、身長、体重、血圧、使用薬剤、血算、生化学検査値、血糖値、HbA1c 値、骨密度（測定されていれば）、呼吸機能検査（測定されていれば）、日常生活活動度（測定されていれば）、認知機能（測定されていれば）。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

：照会先 千葉県市川市国府台 6-1-14 TEL047-375-1111

国際医療福祉大学市川病院 糖尿病・代謝・内分泌内科

研究責任者 竹本 稔

-----以上